

令和2年度  
**印西市民アカデミーだより**  
 ぶらす  
 第21号

印西の歴史散策5

12月4日、この日も小春日和の絶好の散策日和となりました。印旛公民館を出発し、瀬戸交差点を90度左折し山田地区を足取り軽く5kmほど散策しました。



山田橋からの眺め

市井橋からの眺め

昭和42年に陸地を掘削してつくられた北部調整池(北印旛沼)と西部調整池(西印旛沼)を結ぶ印旛捷水路。捷水路に沿ってサイクリング道路が整備されています。山田橋や市井橋からの眺めが最高です。



山田宗像神社

田を奉納

畑を奉納

景行天皇四十一年(111年)倭武命東征の折、仮宮を造営して筑紫宗像神社を奉斎し鎮撫祈願したといういわれのある神社。敷地内には、田や畑を奉納した記念碑が建てられています。



円蔵寺山門

布袋尊

曹洞宗霊岩山円蔵寺の山門前には、仁王像と狛犬が置かれています。現在、本堂は建て替えのため撤去され更地となっています。敷地内には、印旛七福神の布袋尊が置かれています。



円天寺

左が拾萬、中央が壹萬

印西市内で唯一の浄土宗のお寺である龍雲山円天寺。車1台がやっと通れる道の奥にあります。山門をくぐった左手には、「普門品壹萬巻供養塔」と「普門品拾萬巻供養塔」が建てられています。



市井橋前での記念写真

ナウマン象発掘地点の銘板

捷水路の開削中に市井橋の北側100m、地表下約23mの砂の層から約3万年前のナウマン象の化石骨が発見されました。現在、同形の模型が房総風土記の丘資料館に展示され、発掘場所には銘板があります。